

環境への取り組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■「第4回 KOBELCO 森の童話大賞」表彰式の開催

神戸製鋼グループは社会貢献活動の一環として「KOBELCO 森の童話大賞」を展開しています。2016年度は、応募総数625件の中から、各賞12名が選ばれました。1月29日には灘浜サイエンススクエアにおいて表彰式を開催しました。金賞2作品は絵本となり、兵庫県をはじめとする後援自治体の学校や公立図書館などに寄贈しました。



受賞者



絵本(金賞作品)

※詳細につきましては、当社ホームページの専用ページ(<http://www.kobelco.co.jp/mori-ohanashi/>)をご覧ください。

■社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、神戸製鋼グループの事業所・研究所が立地する地域の子供たちを対象に、遊具や絵本、教材などを毎年寄贈しています。2016年度の対象エリアは、15市1町となりました。

また、当社は、当社が支援するNPO法人「SCIX(シックス)」が考案した球技「スペースボール」を、近隣の小学生に体験していただく際のお手伝いをしています。「スペースボール」は、子供たちの身体能力の向上やチームプレーの習得に適しており、当社が運営し、子供を含む地域の方に開放している科学館「灘浜サイエンススクエア」の見学と合わせて体験いただいています。神戸製鋼グループは、今後もこうした活動を継続し、社会との共生を図っていきます。



スペースボールを体験する子供たち



子供たちへの遊具の贈呈式

「ダイバーシティ推進」でイキイキ職場づくり

当社では、ダイバーシティ推進を経営課題の一つと考え、社員一人ひとりが生き生きと働ける職場づくりのために、まずは女性の就業継続・活躍支援に焦点を当てた取組みを進めています。これまでキャリア継続休職制度(※1)導入や女性社員のネットワーク形成支援のための交流会開催などを行ってきました。2016年度も妊婦用の作業服の導入や管理監督職を対象に固定的性別役割分担意識(※2)からくる考え方を見直すための啓発研修などを実施しました。今後も、全ての社員が、制度やインフラなどのハード面、職場風土改革などのソフト面から様々な取組みを進めていきます。



妊婦用作業服のデザインイラスト



管理監督職を対象とした固定的性別役割分担意識からくる考え方を見直すための啓発研修の様子

※1 配偶者の転勤などに伴う休職制度

※2 「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性、女性という性別を理由として役割を分ける考え方のこと。

詳しくは ホームページをご覧ください。

KOBELCO

検索

<http://www.kobelco.co.jp>